

事業実施報告書

団体名：埼玉里母の会

事業名：埼玉県に住む里親子に必要な支援及び情報提供

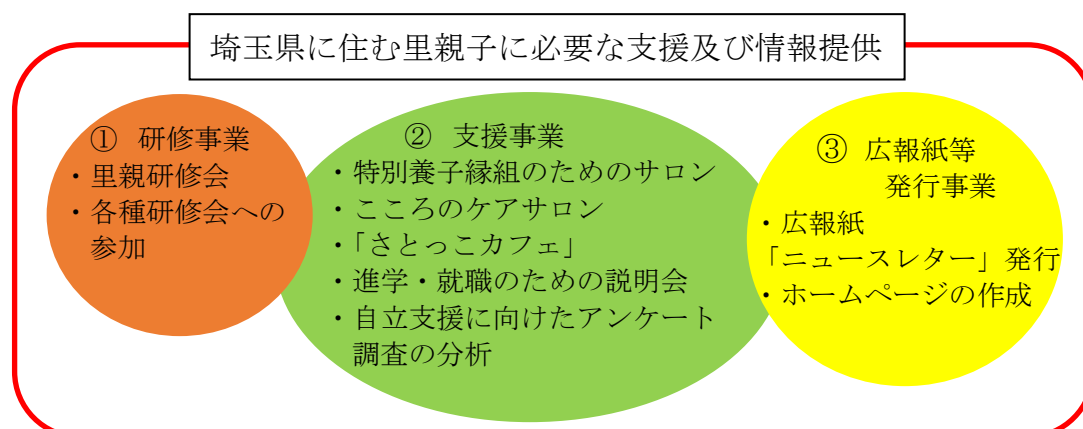
1 事業の目的

埼玉県とさいたま市は、行政区で里親会が分かれています。しかし同じ埼玉で里子の子育てをする際、必要な情報交換や交流は行政区で分ける必要はありません。むしろ共に行動し情報共有しスキルをあげることで、里子の持つ様々な課題に対しより良い支援につながります。そして、里親の中途養育の悩みや不安、不調を起こした場合の振り返りや精神的フォローを行うことで、安定した養育や次の委託へ向けての自信に繋がると考えます。今年度は、地域の違いや養育に至る違いによるフォローの差がなくなることを目指します。また、自立する子どもたちと伴走していくような支援体制を作ることで、社会へ自立後つまずいた時などの相談体制に繋がりたいと考えます。

2 事業内容

(1) 事業の概要

- ① 研修事業 (1) 年1回以上開催 (2) 各種研修会への参加
- ② 支援事業
 - (1) 特別養子縁組のためのサロン
 - (2) 委託解除後こころのケアサロン
 - (3) ユース（中・高・大学生）の自立後のアフターケアとしての情報交換、居場所づくり「さとっこカフェ」全9回開催
 - (4) 進学・就職のための制度説明会の開催
 - (5) 自立支援に向けたアンケート調査の分析
- ③ 広報紙等発行事業



①研修事業

(1) 里親研修会

『いのちをつなぐ現場から』

講師：さめじまボンディングクリニック 事務長 鮫島かをる様
社会福祉士 赤石 達樹様

クリニック協力の映画「まだみぬあなたに」の上映と、「あんしん母と子の産婦人科連絡協議会」についての説明、「さめじまボンディングクリニック」での取り組みについてのお話のあと、質疑応答、ランチ交流会、フリートークを行いました。

《対象者》里親、里子、元里子等、その他支援、賛助者

【事業の流れ】

《実施日》令和元年 11 月 7 日 10:00～

《場 所》With you さいたま 視聴覚ルーム 41 名参加

【成果及び今後の展開】

民間の特別養子縁組斡旋団体の方からお話をうかがう機会は少なく、また養育里親が多い当会のような当事者団体が斡旋団体と協力して研修会を行うことはないため、とても貴重な研修会となりました。特別養子縁組を望む里親や、既に特別養子縁組をされている方も参加されるなど、関心の高さがうかがえました。命のバトンをつないでいくことの大切さを、あらためて学ぶことのできた研修会となりました。今後も当会ならではの研修会を企画したいと考えています。



②支援事業

(1) 特別養子縁組のためのサロン

2年目となった今年度は、支援に地域差が出ないよう県内の各地を回りました。

《対象者》特別養子縁組里親、縁組した養親、その他支援者、賛助者

【事業の流れ】

- | | |
|---|------|
| ① 令和元年 7 月 12 日 (金) 北本市文化センター 第 4 会議室 | 11 名 |
| ② 令和元年 10 月 18 日 (金) 寄居中央公民館 和室 C | 14 名 |
| ③ 令和元年 12 月 7 日 (土) 春日部市民文化会館 中会議室 | 15 名 |
| ④ 令和 2 年 1 月 31 日 (金) 越谷コミュニティセンター 第 1 和室 | 16 名 |

【成果及び今後の展開】

県北に位置する寄居町開催では、なかなか参加できない熊谷方面の方々の参加が多く、県東・春日部市で土曜日に開催した際には、ご夫婦での参加が多くみられました。特別養子縁組ならではの悩み事や発達に関する心配など、思いの内を自由に話していく中で同じ悩みを持つ人がいることを知り、自分一人ではない安心感を得られ、既に経験済みの方からアドバイスが出て、学びを共有出来たのではないかと思います。また特養サロンにご参加いただいた方が、自身の子育ての孤独感や悩みを通して、同じように悩まれる方々の居場所を立ち上げました。お互いに支えあう輪が広がっていると感じます。

今後は、地域にいる民間から特別養子縁組をされた方々にも参加してもらえよう、広報活動等考えたいです。



(2) 委託解除後こころのケアサロン

養育途中の措置解除では里子は勿論ですが、里親も心に大きな痛手を負います。体験を共有することで、心の負担を軽くしていただくサロンを、今年度も5回企画しました。

《対象者》里親、特別養子縁組里親

【事業の流れ】

- ① 令和元年 6月26日 (水) 浦和コミュニティセンター 第8集会室 6名
- ② 令和元年 9月13日 (金) 浦和コミュニティセンター 第1集会室 9名
- ③ 令和元年 11月26日 (火) 武蔵浦和コミュニティセンター 第6集会室 7名
- ④ 令和2年 1月16日 (木) 浦和コミュニティセンター 第6集会室 4名
- ⑤ 令和2年 2月27日 (木) 武蔵浦和コミュニティセンター 第6集会室 3名

【成果及び今後の展開】

2年間を通してみると参加者が少ない分、じっくりお話をうかがうことができました。突然の措置解除で大きな悲しみを感じられた方は、現在、前向きな一歩を踏み出され、このサロンがお役に立てたように感じています。里親のこころのケアの重要性をあらためて感じています。このような場は当会しか開催をしていないのが現状です。今後も継続することで、いつでも気持ちを吐露できる場所でありたいと考えています。

(3) ユース（中・高・大）の自立後のアフターケアとしての情報交換

「さとっこカフェ」年8回開催

《対象者》里親、里子、元里子等、その他支援者、賛助者

【事業の流れ】

- ① 令和元年 6月 8日 (土) 公益社団法人埼玉県社会福祉士会 6名
- ② 令和元年 7月 13日 (土) クローバーハウス 5名
- ③ 令和元年 8月 18日 (日) クローバーハウス 3名
- ④ 令和元年 9月 29日 (日) クローバーハウス 4名
- ⑤ 令和元年 11月 2日 (土) 公益社団法人埼玉県社会福祉士会 4名
- ⑥ 令和元年 12月 27日 (金) 上尾市内カラオケルーム 5名
- ⑦ 令和2年 1月 18日 (土) ファミリーホーム「いなほホーム」 7名
- ⑧ 令和2年 2月 22日 (日) 新型コロナウイルスのため対策のため中止

【成果及び今後の展開】

里子のアフターケアや自立支援の相談、交流の場として活動をしてきた「さとっこカフェ」ですが、今年度は子どもが集まらずに寂しい会が多くなってしまいました。国や県の支援も増えたので高校卒業後の選択肢も増えてきましたが、里親・里子への情報提供が少ない様に思えました。また、自立を迎える時期の子どもに寄り添う活動の困難さもあり、来年度の活動は見直し、自立支援の団体の紹介等をHPで情報発信することを検討中です。



(4) 進学・就職のための説明会の開催

講師に児童養護施設あいの実の小澤里親支援専門相談員をお招きして、給付型奨学金のお話を中心にご説明いただきました。また、今年度奨学金等を申請した里親さんのお話と、現在大学生になる里子さんがいる里親さんから、奨学金申請時に感じたことや大変だったこと等をうかがいました。

《対象者》里親、里子、その他支援者

【事業の流れ】

令和2年2月6日 10:00～ 武蔵浦和コミュニティセンター 13名

【成果及び今後の展開】

現在中高生を養育中の里親さんが参加され、関心の高さがうかがえました。しかし、地域によって18歳以降の措置延長やその後の自立支援事業など、事前の情報収集や児童相談所との自立支援計画が出来ていないことが見えてきました。今後も里親会や行政機関等関係団体と協力しながら、情報の提供とアドバイスのできる機会を継続して展開していくことが必要に感じ



ています。

(5) 自立支援のための調査事業

一昨年度と昨年度に取りまとめた自立支援に向けたアンケート調査結果を、リーフレットにまとめました。*別紙参照

《対象者》中学生里子・高校生里子等（里子アンケート添付）

【事業の流れ】

- | | | |
|-------------|----------------|----|
| ① 令和2年1月9日 | リーフレットの構成・原稿作成 | 2名 |
| ② 令和2年1月16日 | リーフレットの校正・編集 | 3名 |
| ③ 令和2年2月14日 | 印刷発注 | |
| ④ 令和2年2月18日 | リーフレット完成 | |

【成果及び今後の展開】

国の給付型奨学金の概要や、授業料の減免についての概要を里親子用に作成し、アンケート調査の結果と共にまとめ上げ、事業として終了しました。

今後、大学進学を目指している里子さんに役立つことと思います。

配布先：埼玉里母の会会員、(一社)埼玉県里親会会員、さいたま市里親会会員、里親支援専門相談員連絡会、各児童相談所里親等委託調整員等

③ 広報紙等発行事業

(1) 広報誌等発行事業

「埼玉里母の会ニュースレター第3号」 令和2年2月28日発行

「広報用チラシ作成」 4回

【成果及び今後の展開】

埼玉里母の会の活動をわかりやすく、明るい紙面で紹介できる広報誌「埼玉里母の会ニュースレター第3号」が発行できました。これまでも埼玉県内だけでなく、全国の関係機関や団体・個人に配布し埼玉里母の会の活動を広報してきました。今年度はホームページも立ち上げました。その成果なのか、全国の里親支援専門相談員さんの研修会にて活動内容を発表する機会に恵まれ、また福祉を学ぶ大学生からのインタビュー依頼や、教員を養成する大学の講師より「生き立ちを扱う授業について」の講義への協力依頼など、当会の活動の成果が広がりを見せています。今年度版も配布後の広がりが楽しみです。今後も当会の理解、支援、参加をしていただけるよう、引き続き発行していく予定です。

《連携・協力機関》

(一社)埼玉県里親会

さいたま市里親会

(一社)埼玉県社会福祉士会

クローバーハウス
里親支援専門相談員連絡会
さめじまボンディングクリニック
児童養護施設 若竹ホーム
社会福祉法人愛の泉 児童養護施設 あいの実
ファミリーホーム・いなほホーム